

陽の里

発行 平成15年1月1日

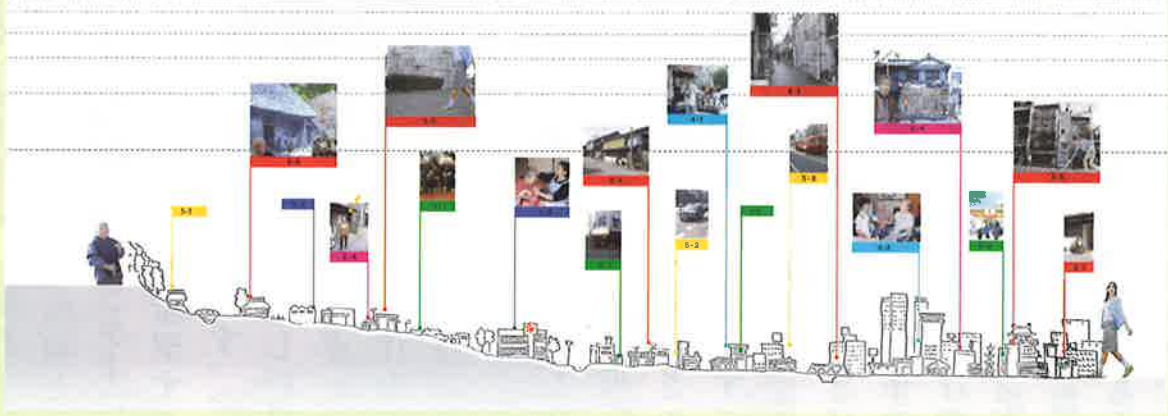


社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター
サンビレッジ

No.81

2003年 テーマ ふるさと福祉村構想

01 教育	1-1 専攻科設置 1-2 高等学校の設置 1-3 コミュニティカレッジ 1-4 生涯学習センター 1-5 市民センター	専攻科設置 高等学校の設置 コミュニティカレッジ 生涯学習センター 市民センター	専攻科設置 高等学校の設置 コミュニティカレッジ 生涯学習センター 市民センター	専攻科設置 高等学校の設置 コミュニティカレッジ 生涯学習センター 市民センター
02 生活	2-1 福祉「サービス」 2-2 コミュニティ 2-3 パリアフリー推進 2-4 シニアの生活支援	福祉「サービス」 コミュニティ パリアフリー推進 シニアの生活支援	福祉「サービス」 コミュニティ パリアフリー推進 シニアの生活支援	福祉「サービス」 コミュニティ パリアフリー推進 シニアの生活支援
03 情報	3-1 地域ネットワーク 3-2 市民センター 3-3 シニアの生活支援 3-4 シニアの生活支援	地域ネットワーク 市民センター シニアの生活支援 シニアの生活支援	地域ネットワーク 市民センター シニアの生活支援 シニアの生活支援	地域ネットワーク 市民センター シニアの生活支援 シニアの生活支援
04 医療	4-1 地域医療連携 4-2 地域医療連携 4-3 地域医療連携 4-4 地域医療連携	地域医療連携 地域医療連携 地域医療連携 地域医療連携	地域医療連携 地域医療連携 地域医療連携 地域医療連携	地域医療連携 地域医療連携 地域医療連携 地域医療連携
05 交通	5-1 地域交通ネットワーク 5-2 地域交通ネットワーク 5-3 地域交通ネットワーク 5-4 地域交通ネットワーク	地域交通ネットワーク 地域交通ネットワーク 地域交通ネットワーク 地域交通ネットワーク	地域交通ネットワーク 地域交通ネットワーク 地域交通ネットワーク 地域交通ネットワーク	地域交通ネットワーク 地域交通ネットワーク 地域交通ネットワーク 地域交通ネットワーク
06 施設	6-1 福祉施設 6-2 福祉施設 6-3 福祉施設 6-4 福祉施設	福祉施設 福祉施設 福祉施設 福祉施設	福祉施設 福祉施設 福祉施設 福祉施設	福祉施設 福祉施設 福祉施設 福祉施設



「ふるさと福祉村構想」

社会福祉法人 新生会理事長 石原 美智子

新年あけましておめでとうございます。

私の今年の初夢は4月13日に開校する「校舎のない学校」です。

岐阜県知事から「ふるさと福祉村」を創るから手伝うようにというお話を頂きました。内容は大きく2つに分かれており、1つは金銭の預託で安心を得るもの、もう1つはサービスを整備しネットワークを構築する方法とのことでした。

私たちはまず、2つ目から着手しました。何故なら、私たちは高齢者福祉に取り組んで20数年、専ら重度の介護を専門分野として取り組んできたからです。

英国の文豪、シェイクスピアの「終わりよければすべてよし」ではありませんが、人生も中だけ良くても終末の生活の質が低くは残念です。でも、人生は高齢になるほど地位や名誉、友人や体力などを失っていくものです。その時、自身の努力だけでなく、周囲の良い環境が整っていることによって大きな安心を手に入れることが出来ます。「安心」は、福祉サービスの量、種類そして何よりも「質」がなければなりません。

どんな人もどんな時でも生活の質を確保できるのが「ふるさと福祉村」です。

質を高めるために「ふるさと福祉村」の中に「校舎のない学校」が生まれるのです。

ふるさと福祉村から生まれた

「校舎のない学校」

校舎のない学校事務局

神原 三保子

『ふるさと福祉村』の研究
 会が積み上げられていく中で、
 地域にあつた素晴らしい力が
 再発見されたり、さらに新
 たな力が生まれてきました。
 坂内村のお年寄りと大垣の
 若い親子たちとの交流が年
 間を通して重ねられたり、
 坂内村、久瀬村、揖斐川町な
 どの高齢者の家に地元から
 も全国からも色々な学生が
 訪れて一緒に過ごしたりする
 中で、学校では教わることの
 できないことを高齢者のみ
 なさんが若者に教えてくだ
 さっています。たとえ介護が
 必要になっても先生役にな
 れるのです。お年寄りが生
 き生きとされています。村の
 暮らしが下流の水を守って



▲収穫の大根

きたことも知りませんでした。また、
 環境と人に優しく、今ある
 ものを生かす建築を考えて
 いくうちに、残っている茅葺
 きの家をみんなが使える拠
 点にしたいと、町の人も一緒
 になつて再利用の工夫が動

き出しました。不登校の子
 供たちが施設の高齢者とい
 い話相手になつています。地
 域医療センターや総合ケア
 センターには、全国から研修
 を希望する人たちが訪れて
 います。全国でも数少ない、
 やさしい母乳育児の病院も
 あります。ヘルパーさ

んの仕事を見て思う
 ところがあつて、訪問
 リハビリを開業した理
 学療法士さんもあります。

質を視点に見たとき、
 この小さな地域にも
 こんなすごいものが一
 杯あり、また生まれて
 いく。ここでは、乳児
 からお年寄りまで誰
 もがかけがいのない存
 在です。それ等を教育
 の場として見たとき、
 生活する人が中心に
 いる新たな地域が見
 えてきます。

地域から学ぶ、生活

から学ぶ、人から学ぶ、これ
 を「校舎のない学校」とい
 います。

ふるさと福祉村から生ま
 れた「校舎のない学校」が育
 つて、誰もが安心して暮らし
 続けることのできる『ふるさ
 と福祉村』が実現します。



▲坂内村と親子劇場の交流会

サンビレッジ宮路について グループホーム・デイセンター・集合住宅の紹介

サンビレッジ宮路 準備室チーフ 桑原 陽

”サンビレッジ宮路”は「校舎のない学校」の中核を担う施設として、池田山の麓、大津谷のすぐ近くにこの春、開設します。風光明媚なこの場所からは濃尾平野の雄大な景色の他、春には大津谷の桜、夏の揖斐川花火大会もご覧頂けます。

グループホーム”弥生”では痴呆性高齢者の営んできたそれまでの生活を大切に、安心して暮らせる生活をサポートをします。隣接する畑で農作物を育て収穫したり、梅干しなどを作り、グループホームの軒先で販売しながら、地域住民の方々と交流も図っていきたいと考えています。なお、定員は

9名となっております。

デイサービス”ちゃぼぼ”では20名定員で、デイサービス

”サンビレッジ”と同様のケアを提供します。利用者お一人、お一人のご要望に応じたデイサービスでの生活を支えていきたいと考えています。

ホール内は可動型の壁があり、その時々々の活動により大きい空間を作ったり、小さく仕切りユニット型のサービスを提供したりしていきます。

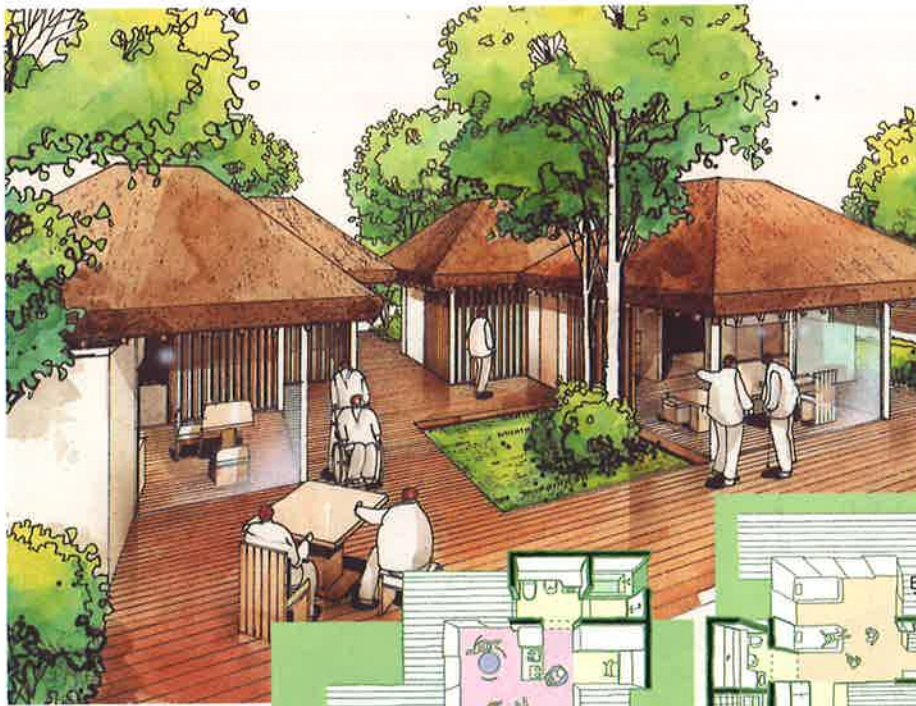
全国初の二戸建の高齢者福祉住宅”ヴィラ・アンキーノ”

は、自分らしく、安心して暮らしていただく為のお住まいです。お元気な方ももちろん要介護状態の方も入居可能です。

お部屋はそれぞれが独立しており、タイプ1（4戸）は9・7坪のワンルームタイプとなっており、キッチン、トイレ、バス、書斎が整備され、使い慣れた家具を持ち込み、自分らしい空間づくりが可能です。タイプ2（18戸）は17坪2LDKタイプとなつて

おり、タイプ1に加えて物置が付きまます。

介護が必要な方にはサンビレッジグループが最期まで安心のサポートを行います。



▲高齢者福祉住宅「ヴィラ・アンキーノ」の路地風景



「サンビレッジ」

「宮路」の建築

建築家 鈴木えいじ

大垣のソフトピアで開催された、校舎のない学校シンポジウムでは「今までのあたりまえをみなおそう」をテーマとして様々な活動報告がおこなわれました。それは「常識と思われてきたことを二度疑ってみることで、今起きている問題を解決する」という考えのもと、それぞれの専門分野で実践されてきた具体的な報告です。そして現在、工事中の「サンビレッジ宮路」建設プロジェクトにおいても「施設でなく家をつくる」をキーワードにいろいろなあたりまえをみなおすことが提案され、新しい施設のなかで実現されるようとしています。そのうちのひとつに「路地のような廊下」があります。いままでの多く

の老人施設の廊下はまるで病院かホテルのように真直ぐにのびて、その両脇に居室の入り口がズラッとならんでいます。建築計画上の理由は歩行安全性と管理のしやすさの為、ということになっていますが、これではとても「家」とはいえませんし、どこが自分の部屋だったかわからなくなってもあたりまえです。サンビレッジ宮路のグループホームには「通路」という部分がありません。廊下は、なつかしい路地空間のように広くなったり狭くなったりしながら食堂や談話スペースとなっているのです。そして各居室には木製の梁の間を自然換気がおこなわれるような仕掛けがしてあり、輻射式の空調機で自然な冷暖房がおこなわれるのです。他にもたくさんの仕掛けがあるのですが次の機会に紹介させていただきたいとおもいます。

お知らせ

サンビレッジ宮路 入居希望者はおご連絡下さい。

デイサービスセンター
ちゃぼぼ

大津谷の四季はとても美しく、春には桜並木を毎日送迎車が走ります。思いに添った過ごし方をお手伝いします。



グループホーム
弥生

弥生から見下ろす眺めは素晴らしく、岐阜市まで広がる光景に開放感が抱けます。自然環境と人に優しいエコの施設設備で穏やかに心地よく暮らしていただけます。



高齢者集合住宅
ヴィラ・アンキーノ

集まって暮らす
それぞれに暮らす
安心して暮らす
夫婦一緒にいつまでも
それがヴィラ・アンキーノです。



連絡先 ご相談・ご連絡はこちらまで・・・

総合ケアセンターサンビレッジ

TEL <0585> 45-5545 FAX <0585> 45-7131

ホームページを
ぜひご覧ください。

URL <http://www.shinsei-kai.or.jp/>
E-MAIL sun@shinsei-kai.or.jp